

Ⅱ. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 ウエイト	R5 実績値	R6 目標値	R6 実績値	R7 目標値	R7 ウエイト	中期経営計画 (R3~R7)		R7目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合 は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
										R7 目標値	最終年度 目標値		
② 安全に対する意識の醸成	運輸安全マネジメントの実践		項目	10	-	3	3	3	10	-	-	・安全管理を実施するため①高架下 工事の安全実施、②安全研修の実 施、③安全レビューの実施の3項目に 取り組む。	・左記項目を、安全施策として計画・実行し、実行状況に対する評 価及び改善を行う「運輸安全マネジメント」の実践を通して安全に 対する意識の醸成を図る。

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

③ 借入金の計画的返済	返済額		億円	30	12.30	13.73	13.73	↓ 10.40	30	10.48	10.48	おおさか東線建設事業(～R2)のた めに調達した借入金の償還を、新規 借入を行わず約定にもとづき確実に 実施する。	・金融機関からの借入金について、着実に計画通り返済を行うた めの、適切な資金管理を行う
④ 高架下の有効活用	高架下貸付面積率 (貸付中面積/貸付対象全面積)		%	7	(84.2)	88.0	90.7	94.0	7	-	-	高架下貸付収入の確保のため、貸付 面積率の向上に取り組む 貸付対象全面積:64,000㎡ ・貸付中面積(R6実績値): 58,059㎡(90.7%) ・貸付中面積(R7目標値): 60,130㎡(94%)	・営業力の強化や認知度向上、さらに高架下の環境整備などの 取り組みを行う。
⑤ 事務処理の効率化と適正な人員配置	一般管理費		千円	3	103,536	104,000	× 106,631	104,000	3	104,000	104,000	中期経営計画に定めたR7年度の目 標値をR7年度の経営目標値として設 定。	・組織については、整備事業完遂に伴い縮小を行った ・全体の収支改善を図りつつ、一般管理費について物件費のさら なる節減を進めるとともに、人件費については、派遣等、社員の 人事サイクルを考慮して縮小に取り組む。

【凡例】

- ・☆はR7年度からの新規項目
- ・×は目標値未達成
- ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
- ・[]内の数値は、参考として記入した実績見込値
- ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値